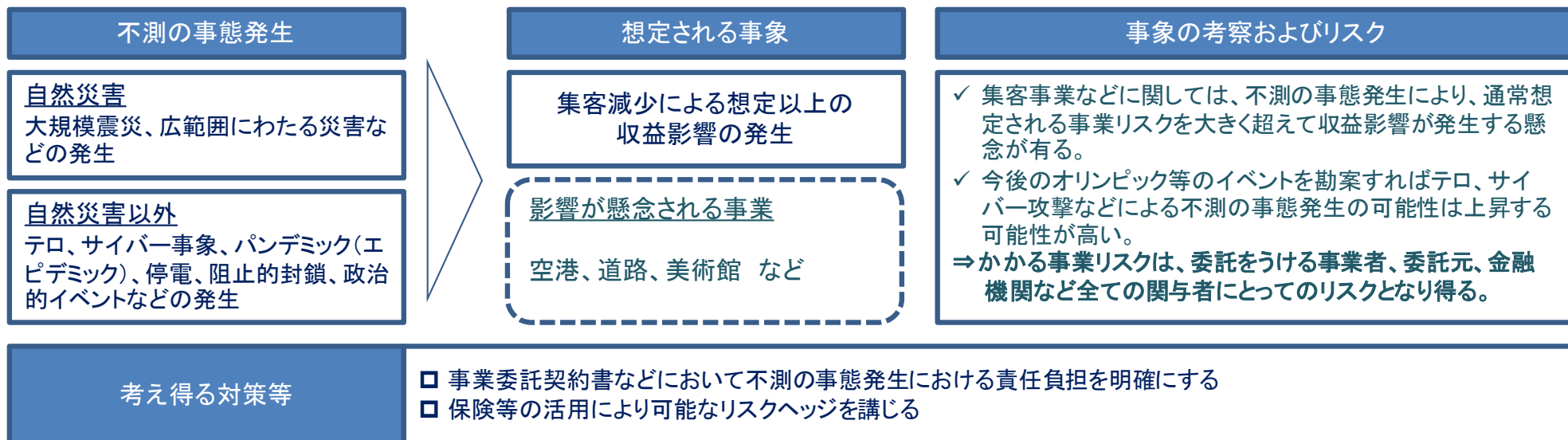


PFI推進委員会 第6回計画部会 資料

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
石丸 宗樹

1. 事業リスクヘッジに関する提言(不測の事態における収益ダメージ)

- ✓ 昨年度の計画部会においては、事業委託する民間事業者の「業務遂行に起因するリスク」と「業務履行に関するリスク(債務不履行リスク)」のリスクヘッジに関して提言をさせて頂いた。
- ✓ 今回は、不測の事態が発生した場合における事業収益影響に関して触れてみたい。
- ✓ 地震等の自然災害やテロ予告等が発生した場合において、PFI事業で一定の比率を占める集客施設は利用者の減少などにより収益への影響が避けられないことからこの点について事前の取り決めやリスクヘッジ対策を講じておく必要があるものとする。



2. その他の提言、意見等

全般

Park-PFIにみられるような規制緩和と一体となった取組推進

- ✓ Park-PFIの取り組みにみられるような本来目的を損なわない範囲での事業収益向上に資する規制緩和と一体となった取り組みは民間目線で見ると極めて効果的に映ります。
- ✓ 例えば、地下空間を含む空間資源の有効活用や用途の拡大などを組み入れた支援制度を充実させることで民間事業者の参入意欲をより一層喚起することにつながるものと考えます。

水道

事業者メリットの明確化と住民理解の促進

- ✓ 推進アクションプランの集中取組方針に指摘が有るように、水道事業に関しては事業者からみた長期収益性、住民から見た安全性確保への不安が根深いものと推測されます。
- ✓ 課題に対して厚労省が積極関与し解消を図るとしているものの、より一層の具体取組やメリットなどを前面に出していくことがコンセッション事業具体化の実現につながるものと考えます。